

発表者氏名： 上田 裕之

所属学校： 幼稚園

派遣職種： 幼稚園教諭

派遣国： ミクロネシア

派遣先： ポンペイ州アワック幼稚園

タイトル： ミクロネシアでのホームステイと
幼児初等教育における算数の授業

キーワード： 幼稚園小学校での数量感覚を養う算数教育、隊員協力の算数プロジェクト、
村での 86 歳のおじいさんとのホームステイ生活

発表要旨：

ミクロネシア連邦国初の幼児教育隊員として派遣されたが、配属先や関連機関に派遣意図が伝わらない状態で活動を開始した。まず、現地の教育方法を学ぶことからスタートし、現地の人が求めているものを探り、幼児が数量感覚を身につける指導がされていないため、楽しみながら数量感覚が身に付く授業をカウンターパートに伝え、理解を得た。また、大洋州に広く指導法を伝えるために、ハワイで行われた北大洋州の教育大会でカウンターパートとプレゼンを行なった。そして島の幼稚園教員全員に指導法を広げるために中心部の幼稚園で、オープンクラスの授業を行い、分かり易く楽しい授業を提案した。また、幼稚園小学校低学年用に現地の実情に適したワークブックを作成し、全幼稚園小学校に配布した。また 2000 キロ離れたヤップ州においても、離島教員を対象に幼稚園の算数ワークショップを開催した。この他にもミクロネシアの小学校隊員及び、JICA の現地の帰国研修員と連携し、小学校の教員のスキルアップの一環として算数向上プロジェクトを立ち上げた。現地の教員が子どもに分かりやすい授業のモデリングがないことから、隊員による身近な素材を使ったオープンクラスを実施し、分かりやすい授業を具体的に伝え、現地の教員が公開授業を行うまでの技術移転を行った。また、ミクロネシアとマーシャルとパラオの 3 国の算数教員が集まる広域研修を実施した。

他には、鳴門教育大学と共同でミクロネシア連邦国初のインターネットライブを行った。配属先が村であったため、派遣中は日本統治時代を知る 86 歳のおじいさんと大家族に囲まれ、現地の文化や日本統治時代の事等を学び、現地に根ざした生活を送った。プライベートではウクレレバンドを結成し、教会・病院の慰問、学校教材の CD 作成を行なった。

帰国後は、勤務先の園児、保護者のみならず、夏の研修講座で市内の教員を対象に、協力隊の現状や活動報告を行っている。



ポンペイ島の全幼稚園教員を対象に数量感覚を養いながら楽しい算数の授業を目的とする幼児が参加したオープンクラスの様子。授業後、プレゼンにて授業意図や数量感覚の養う大切さを伝え、非常に高い評価を得た。